

## New Horizon 第14回 Lessons

### Lesson 14-1: 疑問詞⑥ (Whose ○○ / What's wrong / What's the matter)

#### 1. Whose ○○~? = ~は、誰の○○ですか

<例> Whose bag is it? <それは誰の**カバン**ですか>

##### 〔補足説明〕

文脈上、○○が限定されている場合は、○○が省略されることもある。

<例> That bag is nice. Whose is it? (あのカバンは良いです。誰のですか)

#### 2. What's (What is) wrong? = どうかしたの (ですか)

<例> What's wrong? Are you OK? <どうかしたのですか。大丈夫ですか>

##### 〔補足説明〕

「相手の体調をたずねる時」「相手が何か困っている様子の時」に使う表現。通常 What is と分けて What's と短縮形が使われる。wrong は「間違っている / よくない」といった意味。そのため、What's wrong? の直訳は「何がよくないのですか」となる。また、What's wrong with you? とすると「あなたはいったい何を考えているの?」（自分が理解できない行動を相手が取った時に使われる表現）と捉えられることもあるので注意。

#### 3. What's the matter? = どうしたの (ですか)

<例> A: What's the matter? B: I'm just tired.

<A: どうかしたのですか。B: 私はただ疲れているだけです>

##### 〔補足説明〕

What's wrong? と、ほとんど同じ意味で使われる。通常 What is と分けて What's と短縮形が使われる。matter は「事 / 問題 / 事件」といった意味。そのため、What's the matter? の直訳は「何が問題なのですか」となる（相手の体調がよくない、困っている状況を引き起こしている“その”問題をたずねているので、the matter となる）。また、What's wrong? 同様、What's the matter with you? とすると「あなたのいったい何が問題なの?」（自分が理解できない行動を相手が取った時に使われる表現）と捉えられるので注意。

## Lesson 14-2 : 様々なフレーズ⑭

### 1. be careful (with ~) = (~には) 気を付けて / (~に) 気を付けて

<例> Be careful with that computer. <そのパソコンには気を付けて>

#### 〔補足説明〕

「気を付けて」という場合、Be careful. だけ使われることが多い。

### 2. funny = (滑稽なという意味の) おもしろい / 笑える (形容詞)

<例> He is very funny. <彼はとても面白いです>

#### 〔補足説明〕

基本的に fun は「楽しいこと / おもしろみ / 楽しい」という意味なので、It was fun. とはいえるが、He is fun. とは言えないので注意。

### 3. I can't (cannot) wait. = 待ちきれないです。

<例> The show is tomorrow. I can't wait. <ショーは明日です。待ちきれないです>

#### 〔補足説明〕

何か楽しみなイベントや出来事がある時に使う表現。口語では I を省略して Can't wait. だけ言われる場合もある。

### 4. in ○○ (○○ = 分、時間、日などの時間の単位) = ○○後に / ○○で

<例> I want to leave here in five minutes. <私は5分後にここを出発したいです>

#### 〔補足説明〕

前置詞は in だが「~後」という意味なので注意。

## Lesson 14-3 : 様々なフレーズ⑮

### 1. still = まだ / 今でも / それでもなお

<例> He is still in the classroom. <彼はまだ教室にいます>

#### 〔補足説明〕

still は副詞。 usually / sometimes といった副詞と同じように、be 動詞の肯定文では、be 動詞の後に足され、一般動詞の肯定文では、一般動詞の前、can のような助動詞の肯定文では、助動詞の後に足される。

<例> He still lives in America. (彼はまだアメリカに住んでいます)

You can still finish your homework. (あなたはまだ宿題を終わらせることができます)

2. **for** ○○ (○○ = 分、時間、日などの時間の単位) = ○○の間

<例> I studied English for two hours. <私は、英語を2時間勉強しました>

3. **Maybe** ~ = おそらく ~ / たぶん ~

<例> Maybe he is right. <たぶん彼は正しいです>

〔補足説明〕

Maybe は、一語。通常文の最初に置かれ “Maybe + 文” の形になる。また、質問の答えで「おそらく」と言いたい場合、Maybe とだけ言われることもある。

<例> A: Can you teach them? B: Maybe.

<A: あなたは彼らを教えられるですか。 B: おそらく>

**Lesson 14-4: 体調の説明に使われるフレーズ**

1. **have** ~ = ~ (の症状が) ある / ~ (頭痛などが) する

<例> I have a headache. <私は、頭痛がします>

〔補足説明〕

頭痛・腹痛など痛みが「ある」という場合は、主に一般動詞の have が使われる。have の後続くものには、以下のようなものがある。

a \*headache (頭痛)      a \*stomachache (腹痛)      a fever (熱)  
a \*toothache (歯の痛み)      a sore throat (喉の痛み) 【sore = 痛い / throat = 喉】  
a pain in ~ (～に痛みがある) 【pain = 痛み】      a pain here (ここに痛みがある)

\*ache は「痛み」という意味。“head (頭) + ache (痛み) = headache (頭痛)” “stomach (胃) + ache (痛み) = 腹痛” “tooth (歯) + ache (痛み) = toothache (歯の痛み) となっている。

また「保健室 (nurse's office) に行く」「歯医者 (dentist) に行く」という場合、go to the nurse's office や go to the dentist のように、一般的に the がつく。その理由は、保健室といたら「自分が通っている学校の保健室」と限定されており、歯医者と言えば「自分がいつも行っている歯医者」と限定されているため。

## 2. take (get) a rest = 休憩を取る (得る)

<例> You can go home and take a rest. <あなたは家に帰って休憩を取ることができます>

### [補足説明]

頻繁に使われるのは、get some rest (いづらか休憩を得る) というフレーズ。

<例> You can go home and get some rest.

<あなたは家に帰っていくらか休憩を得ることができます>

## 3. hurt = 痛む / けがをする (一般動詞)

<例> I hurt my right arm. <私は右腕をけがしました>

### [補足説明]

hurt は、過去形も hurt (不規則動詞)。

## 4. take medicine = 薬を飲む / 薬を服用する

<例> I take this medicine every day. <私は毎日この薬を飲んでいきます>

### [補足説明]

take と medicine の間に、this / some といった形容詞もよく使われる。

## 5. That's (That is) too bad = それは残念です

<例> A: I'm sorry. I can't go to the party. B: Really? That's too bad.

<A: ごめんなさい。私はパーティーにはいきません。 B: 本当ですか。それは残念です>

### [補足説明]

too ~は「～すぎる」という意味。そのため、That's too bad. の直訳は「それは悪すぎる」となる。